

該当する。解決案を早急に見つけ進めていく。

問) 調達ガイドラインを作成すべき。目的が同じシステムは、**基盤統合**すべき。インフラ改善、データセンターの活用を模索すべき。アクセスロケー括管理。職員は**本来業務に特化**すべき。
政策部長) アウトソーシングを実施し、職員の適正な業務につけるよう、努力したい。

●情報の伝達について

問) 昨年から小中学校のHPやブログ、メール等活用した連絡体制の構築を要望。経過は？

教育長) 4月からブログを各学校開設した。HP以上に機動性があり、即時性が高いと実感する。

問) 保育園の連絡体制については、いかがか？
子ども福祉部長) 速やかに環境整備をしていく。

●太陽光発電について

問) 電力に関することは喫緊の課題。遅くとも来年度には市の補助制度を実現すべきだ。

環境部長) 経費計上可能かどうか含め検討する。

問) 公共施設屋上等に配置が可能か。電気料金、災害対策でも重要な課題。検討はいかがか？

都市建設部長) 今後、必要に応じて検討する。

●紙使用量削減について

問) まだ全体的に紙使用量が多い。印刷枚数の集計や紙代も実績で予算を各課配当し、分析したほうが、職員の減量化意識が高まるのでは？

政策部長) 管理等を含めコスト削減を図る。各課予算の変更や使用量把握の仕組みも検討する。

●ネーミングライツ(命名権)の導入について

問) 財源確保の1つとして、検討しては？

政策部長) ネーミングライツ対象の施設等々、リストアップをして、検討を進めていきたい。

女性の視点を生かした 防災対策を求める



公明党 さの 久美子

1. 安全・安心のまちづくりについて

(1)女性の視点を生かした防災対策が必要。国分寺市防災会議の女性委員の人数を男女共同参画の観点からも増やすべきでは。

市長) 条例改正も含め前向きに検討していく。

(2)避難所運営の疑似体験ができるHUG(避難所運営ゲーム)を多くの方が体験できる機会をつくるよう求める。市)「市民防災まちづくり学校」等で取り組みたい。又、防災教育の場や、職員研修等でできる方向で検討する。

(3)今年度の市総合防災訓練はどう工夫されたのか。防災教育の中で、子どもたちが備蓄食糧を試食する機会を作ってほしい。市) 今年夕方から訓練を開始し、4中体育館での避難所開設・宿泊体験も行う予定。教育長) ふだんから備蓄食糧への理解が大事。進めてまいりたい。

(4)災害時の火災が心配される。対策は万全か。市) 耐震性貯水槽の計画的整備をしていきたい。

(5)JR中央線にかかる橋梁への対策は。避難場所に対する内藤地域の方の不安への対応を。市) 築山橋・戸倉橋・内藤橋の落橋防止工事は完了。国3・2・8号線は完成後緊急避難路となる。府中市・国立市への広域避難も周知したい。

2. 環境問題について

国分寺版「CO₂CO₂プラン」の作成を提案する。市) 小学生から企業まで省エネ・省資源の啓発ができる良いプラン。導入にむけて研究する。さの) 学校版環境家計簿の1年間の成果は。教育長) 小中学校合わせて18.5%節電という実績。節電行動計画の一環として、学校版環境家計簿も大きくプラスに働いたと考える。

3. 認知症対策について

(1)認知症サポーター養成講座を経済課と連携してもっと企業などに働きかけるべき。受講者へのフォロー体制の進捗状況は。市) 商工会などに働きかけをしていきたい。今年度は市職員を対象にスキルアップ研修を実施したい。

(2)学校での認知症への取り組みについて。教育長) 体験を通して学ぶことは重要。総合的な学習の中などで、そういう機会を準備したい。

みんながイキイキと 暮らせるまちにしたい!



無会派(みんなの党) いとう 太郎

①今回はそれぞれ困っている方々にメッセージを送りたいと思っています。まずは国際条約ですが、子どもの権利条約・ハーグ条約と日本国憲法第13条そして、児童福祉法など市の条例がズレが生じていないかを確認したいと思います。まずは子どもや妻などの家族らにDVつまり日常的暴力で虐待を行っているケースでは主に男性が行っているイメージですが、60%以上の方々が女性が子どもに暴力を行っている。それも無意識に行っているケースが多いので発覚されにくい。貧困や離婚率の増加、仕事上のストレスなど、これらが主な理由です。これらにシワ寄せがより弱い人達にツケが回されている。企業も景気の低迷及び円高そしてデフレ圧力などコストをカットしなければ企業が存続が難しいのが現状でしょう。昭和の時代は「水と安全はタダ」と日本は言われていましたが、ミネラルウォーターを買いそして安全は犯罪が多発し警備会社が活躍しています。いまのような日本はベトナム戦争以後のアメリカの状態に似ています。犯罪の地方化、低年齢化そして重犯罪化です。国分寺市民が被害者はもちろんの事、加害者にもなって欲しくありません。国も法改正をし、虐待防止法・民法では親権の制限、少年法の改正をしましたが、一向に成果が上がりません。

②続いて高齢者施策です。ちなみに私は47歳の中年ですが、私は中年と呼ばれたくありません。多分ご高齢の方々の中には私と同じような思いを持っていらっしゃるかもしれません是非検討しますので高齢者という名称の代案をお願い致します。地域生きがい交流事業についてですが、5月半ばから新しい制度がスタートしました。これが評判になっているようです。お友達数名で自主グループになれます。気軽にお茶飲み友達でも大丈夫だそうです。

福祉保健部長) 今までは行政主導とかお仕着せのプログラムでしたが、自主的にやりたい事をやれる方が市民力が発揮されるように改善した事が利用率の向上につながっていると思う。

障がい者の特性に即し ヘルプカードの導入を



公明党 高橋 りょう子

1. 市民の健康・予防医学・医療費削減に食育

①高) 6月は年1回の「食育月間」。市民の健康維持に自治体が食育推進計画策定・実施。本市の進捗は。市) 関係各課が体系化し、事業指針を策定した。

高) それを市民の健康に活かす為、高齢者の骨折防止・年代別の栄養指導など具体的な実施を。市) 栄養指導を認識しつつも敬老会の予定が立たず、そのあり方も含め検討する。

②高) 学校給食は摂取して初めて栄養となり残渣も少ない。成長期の中学生に提供する献立の内容や喫食時間の不足、温度などの課題認識は。市) 今は喫食率は良いと認識。時間確保、栄養士の巡回食育指導、意見聴取など再度徹底する。高) 生徒からの献立募集や、食生活に起因する癌教育のDVD活用等、食について考える機会を。市) 重要と認識し参考に取り組みでみたい。

2. 心のケアは早期発見、人との繋がり
高) 市導入の「こころの体温計」が好評。更なる周知工夫でうつ病・自殺未然防止を期待する。市) 自殺防止対策ポスターの掲示、チラシ発行で心の病気に気づき、相談頂ける体制を整備。

3. 緊急・災害時の市民生活に安心対策を

①高) 昨年導入の「緊急時医療情報キット」。幸いにも一命を取り留めた市民が。24年度は。市) 新たな対象者にも昨年導入分に対応する。高) 市民防災推進委員会作成の携帯用「私の緊急カード」を広く市民に提供・活用を望む。市) キットと同内容で外出時に有効。検討する。

②高) 災害時、障がい者は情報入手困難となる。周囲に支援を求める「ヘルプカード」導入を。市) 障がい特性に沿った支援内容で検討する。

4. 交通不便地域「北町」にバスの運行を

高) 高齢者の増加、新規住宅も増え子育て世帯からの要望も。近隣市を参考に運行実施を。市) 広報努力等収益アップで議論盛り上りたい。市長) 意見聴取など、条件を整え検討したい。

その他、意思決定の場に女性の起用・人材育成、障がい児の発達支援体勢強化などを質問。

閉会中の委員会

第2回定例会終了後、平成24年第3回定例会までの委員会の開催は下記のとおりです。

平成24年7月19日(木)	議会運営委員会
7月27日(金)	厚生委員会
7月30日(月)	総務委員会
8月7日(火)	建設環境委員会
8月9日(木)	文教委員会
8月30日(木)	代表者会議

議会運営委員会
※委員会は市役所第1庁舎3階第2委員会室で、午前9時30分から開始予定です。委員会はどなたでも傍聴できます。
議事担当(内468)

請願・陳情の提出について

請願・陳情はどなたでも提出できます。

平成24年第3回定例会(9月3日開会予定)からの審査を希望する方は8月14日(火)までに提出してください。

※ご不明な点は、事前にお問い合わせください。

調査担当(内581)

音声配信について

市議会では、平成24年6月1日からの第2回定例会で行われた「一般質問」の模様を、本会議録が完成するまでの間(8月29日予定)、国分寺市議会のホームページで音声配信しております。ぜひご利用ください。

議事担当(内468)